

裏磐梯におけるオオハンゴンソウの分布状況

【目的】

裏磐梯の五色沼のオオハンゴンソウの除去作業は8月初旬環境省の提唱で関係団体が参加して行われている。国道459号線猪苗代方面よりの長坂集落を過ぎたあたりから道路わきで繁茂している状況で、五色沼だけを除去すれば済むというわけではない現状と思える。裏磐梯地区全域にわたっての調査の必要があるがともかく目測でも良しとして調査をはじめた。

【考察】

毘沙門沼から長瀬川への流入経路が著しく、秋元へと広がっているとおもえる。

中瀬沼から長瀬川への流入はなく、人の踏み込みにより広がっている地点が多い。

私有地を勝手に除去作業のために入るわけにはいかないので、今後所有者を調べ1つずつ啓蒙活動をすすめながら効率よく除去していく必要性を感じる。8から14は五色沼の除去活動と同時に関係機関で除去できる。同じく猪苗代からの道路沿いも早急に除去を考えなければ風物誌的景観になってしまう。

【概要】

(1) 調査日

確認しやすい開花時期にあわせて8月8日・11日・17日・28日おこなった。

(2) 調査者

真野 真理子

(3) 調査方法

50mメジャーを使用し、奥行きは入れるところは入り計測したが、斜面下などは目測にたよった。猪苗代方面に向かって左右を統一して記述した。

レベル基準

- 1 10本くらい
- 2 10～30本
- 3 30～100本
- 4 100本以上

(4) 調査範囲

- ・ 国道459号線沿い（朝日国立公園からゴールドライン入り口）
- ・ 県道米澤線（剣が峰交差点から早稲沢）
- ・ 村道 秋元湖入り口から橋まで
- ・ 村道 剣が峰分岐から休暇村
- ・ 村道 五色沼入り口からレークラインガード下
- ・ レークライン交差点から望湖台まで